

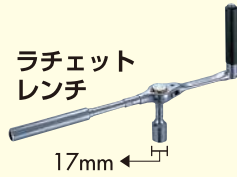
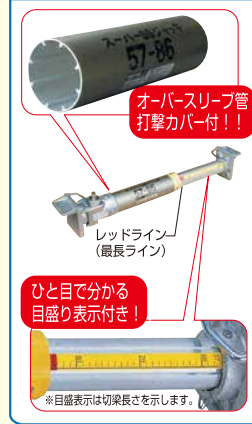
## ● 特 長

- 1) 地上より設置・増締め・撤去が行え、安全です。
- 2) ラチェットレンチ伸縮できるので極めて簡単です。
- 3) 市販のインパクトドライバー(17mm)も使用でき、早く調整が行えます。
- 4) 目盛り付きで簡単に長さの調整が行えます。
- 5) 許容軸力78.4kN(8t)(型式:39-50~159-215まで) 突っ張り力約29.4kN(3t)、土圧が掛かっていても解除が楽に行えます。
- 6) 保守が簡単で耐久性に優れています。
- 7) アルミ製により、軽量でサビません。

## ● 仕 様

	形 式	許容軸力 (kN)	切梁長さ (cm)		重量 (kg)
			最小	最大	
標準タイプ	39-50	78.4	39	50	7.4
	47-66	78.4	47	66	8.1
	57-86	78.4	57	86	9.0
	72-113	78.4	72	113	10.1
	88-144	78.4	88	144	11.3
	125-181	78.4	125	181	13.6
	159-215	78.4	159	215	15.5
	192-248	58.8	192	248	17.4
	228-284	58.8	228	284	19.6
長尺タイプ	264-320	58.8	264	320	21.7
	311-336	39.2	311	336	21.3
	326-363	39.2	326	363	22.4
	342-394	39.2	342	394	23.6
	延長管 251	—	—	—	12.3

より強くより使いやすく



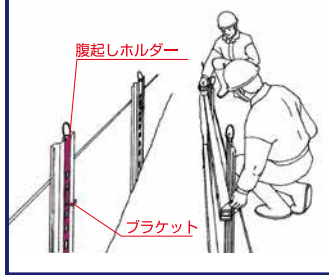
作業棒 L(2400mm)

作業棒S(1200mm)

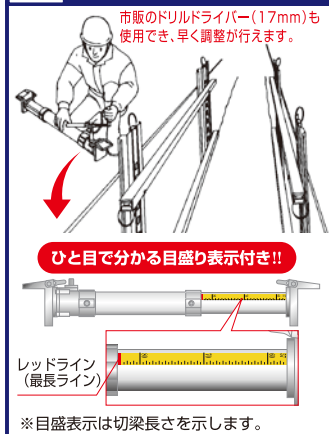
作業棒には標準セットでラチェットレンチが付いています。

## ● 設置手順

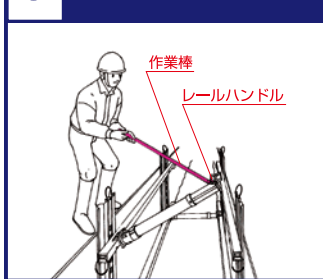
**1** 矢板を4所所根入れし、腹起し吊り具(腹起しホルダー・ブラケット)にて位置決めし腹起しを設置する。



**2** 腹起しの間隔より少し短めに、スーパーSSジャッキの寸法を合わせる。



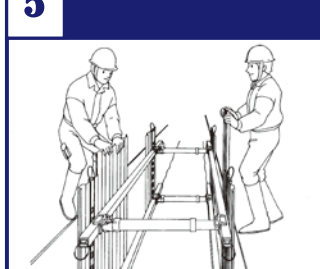
**3** スーパーSSジャッキを作業棒にて地上より設置する。



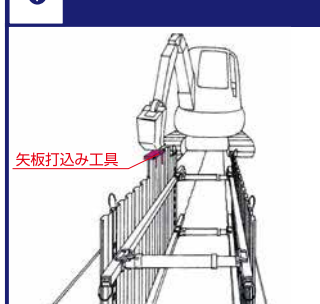
**4** 作業棒の先端のソケットをジャッキのスバナノに差し込み、ラチェットレンチをセットし、仮締めする。



**5** 残りの矢板を立て込む。



**6** 矢板打ち込み工具を使用して、根入れを行う。



**7** 4の手順で本締めし設置完了。



## ● 撤去手順

- (1) 作業棒の先端のソケットをスーパーSSジャッキのスバナノに差し込み縮めてください。
  - (2) 作業棒をスバナノより引き抜いてください。
  - (3) 作業棒にて反対側のレールハンドルを吊り上げてください。
- (注) スーパーSSジャッキに圧力がかかった状態での無理な撤去は、曲がりや損傷の原因となりますので、絶対に行わないで下さい。必ず縮めてから撤去してください。